

伯耆町図書館だより

晩秋に入り、いよいよ冬支度の季節になりました。この月は、霜が降り始める季節であることから霜月ともよばれ、立冬、小雪と足早に季節が冬へと向かって行く様子がうかがえます。時雨が、やがて、みぞれやあられに変わり、次第に雪になる日も、もう間近。今年は、大山の初冠雪がいつ頃になるのでしょうか？

まだまだ読書の秋

今年度、上半期文学賞が発表になり、第133回、「芥川賞」は『土の中の子ども』（中村文則/著）同じく「直木賞」に『花まんま』（朱川湊人/著）が決定しました。今月は、惜しくも賞に入選することができませんでしたが、それぞれの候補になった力作をご紹介します。



<さよならアメリカ>

樋口直哉/著
講談社

第48回群像新人文学賞受賞作。
純粋な感性と倒錯的視点が出現させた現代文学。



<逃亡くそたわけ>

絲山秋子/著
中央公論社

逃げるのに理由なんかいない。
川端康成文学賞作家の書きおろし作品。



<ユージニア>

恩田 陸/著
角川書店

遠い夏、白い百日紅の記憶。死の使いは、静かに町を滅ぼした。



<むかしのはなし>

三浦しおん/著
幻冬社

「日本昔話」は、こんなにも新鮮で残酷で面白い「現代小説」だった!!



<となりまち戦争>

三崎亜記/著
集英社

2004年第17回小説すばる新人賞受賞。
ある日届いた「となり町」との戦争の知らせ。



<いつかパラソルの下で>

森 絵都/著
角川書店

厳格な父に嫌気がさし、成人を機に家を飛び出した...

寄贈して頂きました

財団法人ごうぎん鳥取文化振興財団様より、図書券を頂戴致しました。
蔵書整備にご支援を頂きましたことを感謝申し上げますとともに、皆様にお知らせを致します。

